

泉南市の概況・公共交通の現況 について



SENNAN-City



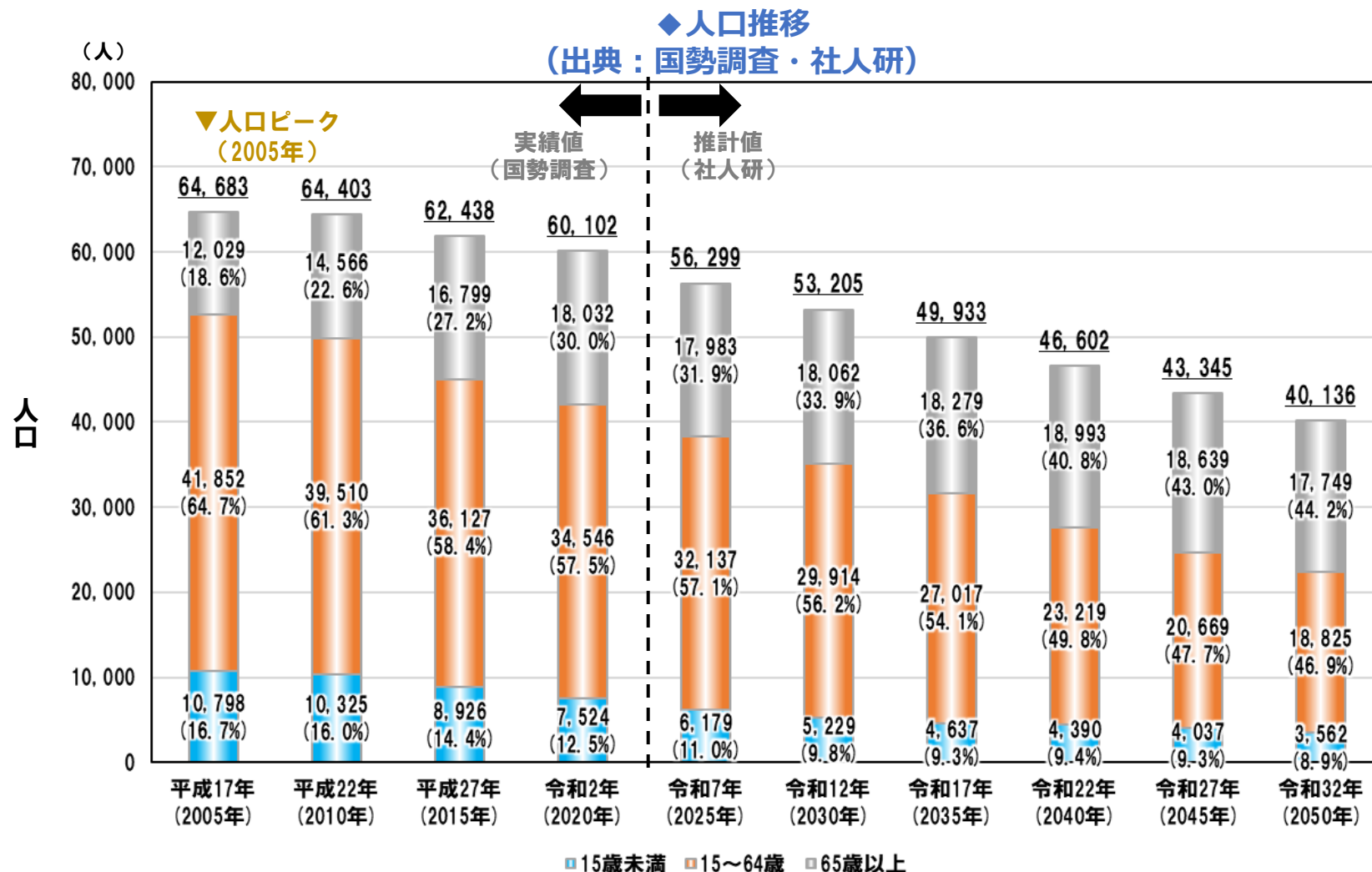
(1) 泉南市の概況について

(1) 泉南市の概況について



人口動態

- 本市の人口は平成17年にピークを向かえ、現在、人口は現状傾向にあります。
- 今後も人口減少・高齢化が進んでいくことが予想されます。

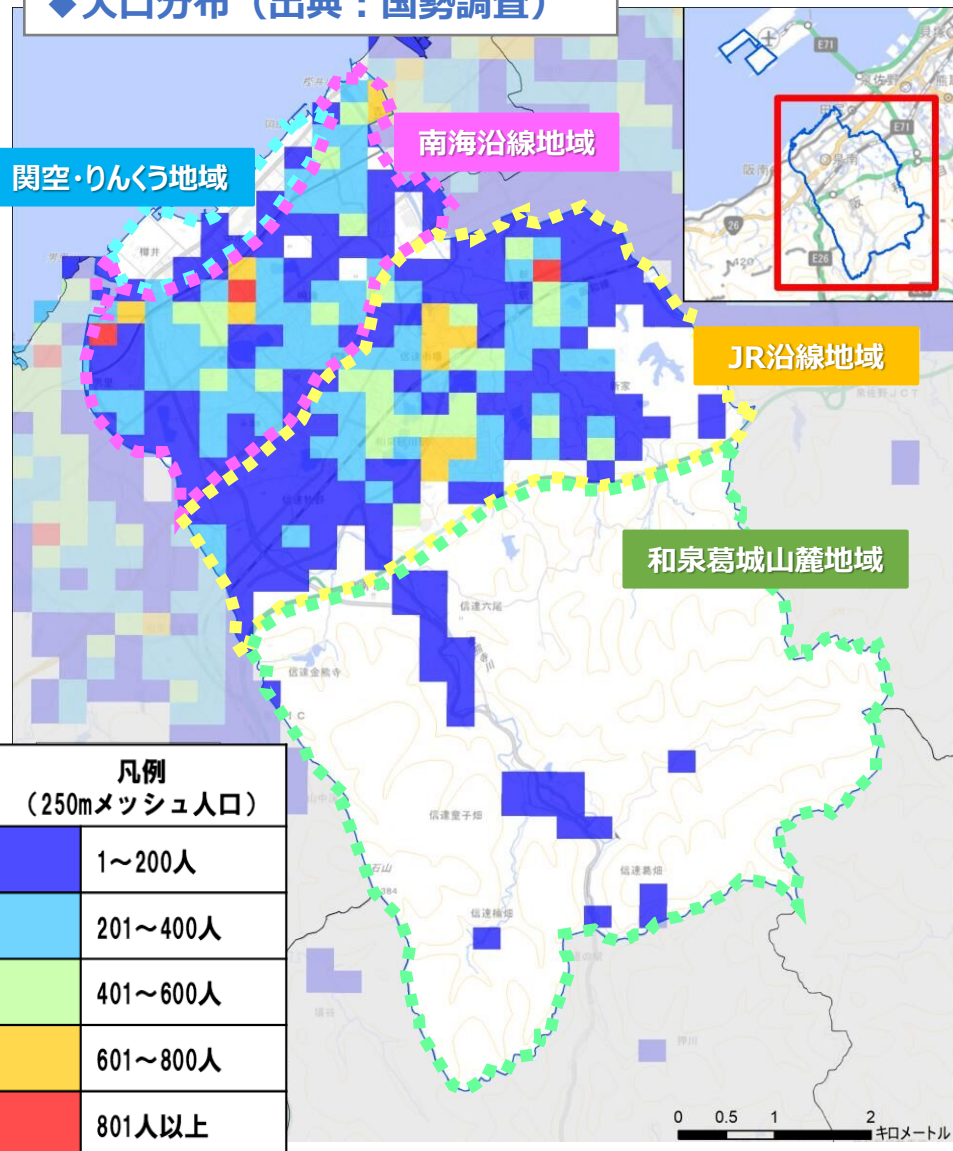


(1) 泉南市の概況について



人口分布

◆人口分布（出典：国勢調査）



関空・りんくう地域

地域の中で最も面積が小さく、大部分を大規模店舗、工場などが占めているため、最も人口の少ない地域となっています。

南海沿線地域

樽井駅周辺に特に人口が集中しており、2番目に人口の多い地域となっています。

JR沿線地域

新家駅周辺～一丘～和泉砂川駅周辺に連続して団地や住宅地が広がっており、最も人口の多い地域となっています。

和泉葛城山麓地域

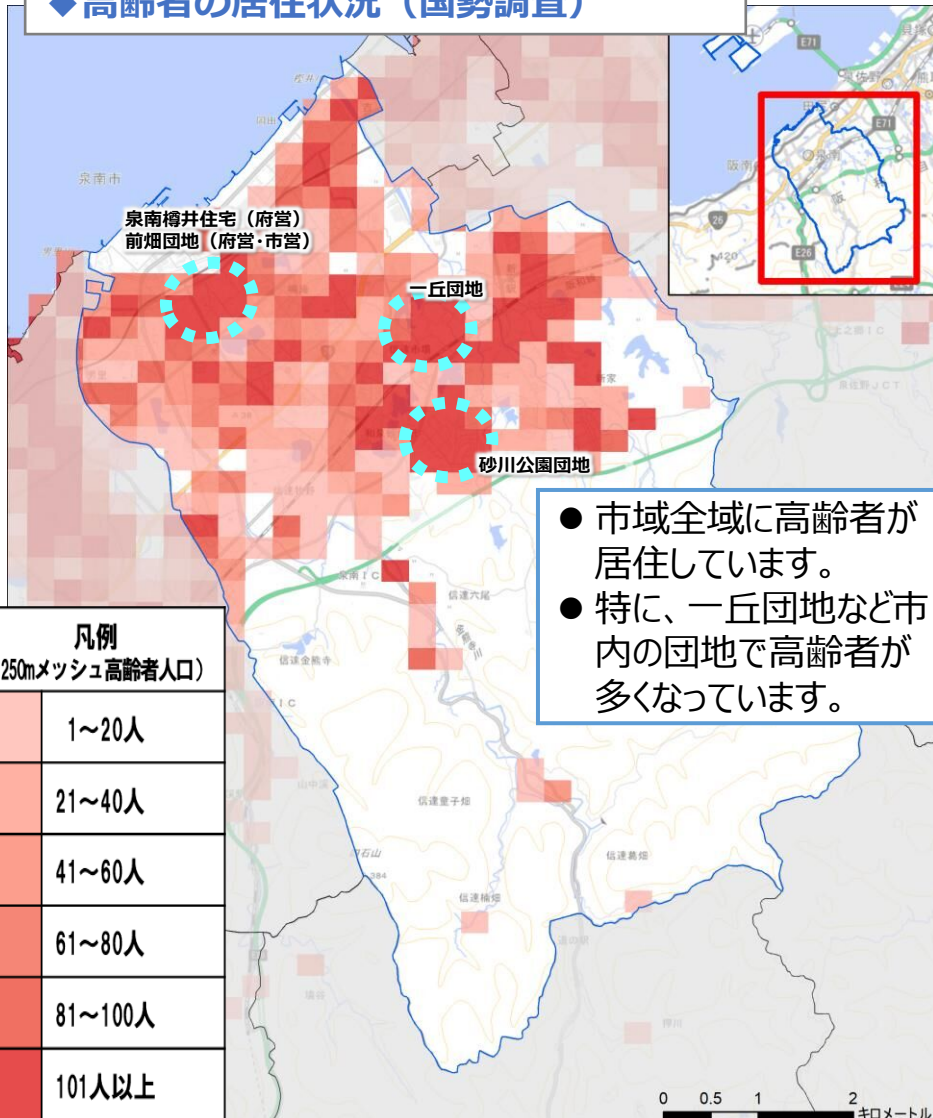
全域が市街化調整区域となっており、泉南岩出線（府道63号）沿いを中心に人口が分布しています。
※地域の人口は、市の人口の約1%程度。

(1) 泉南市の概況について

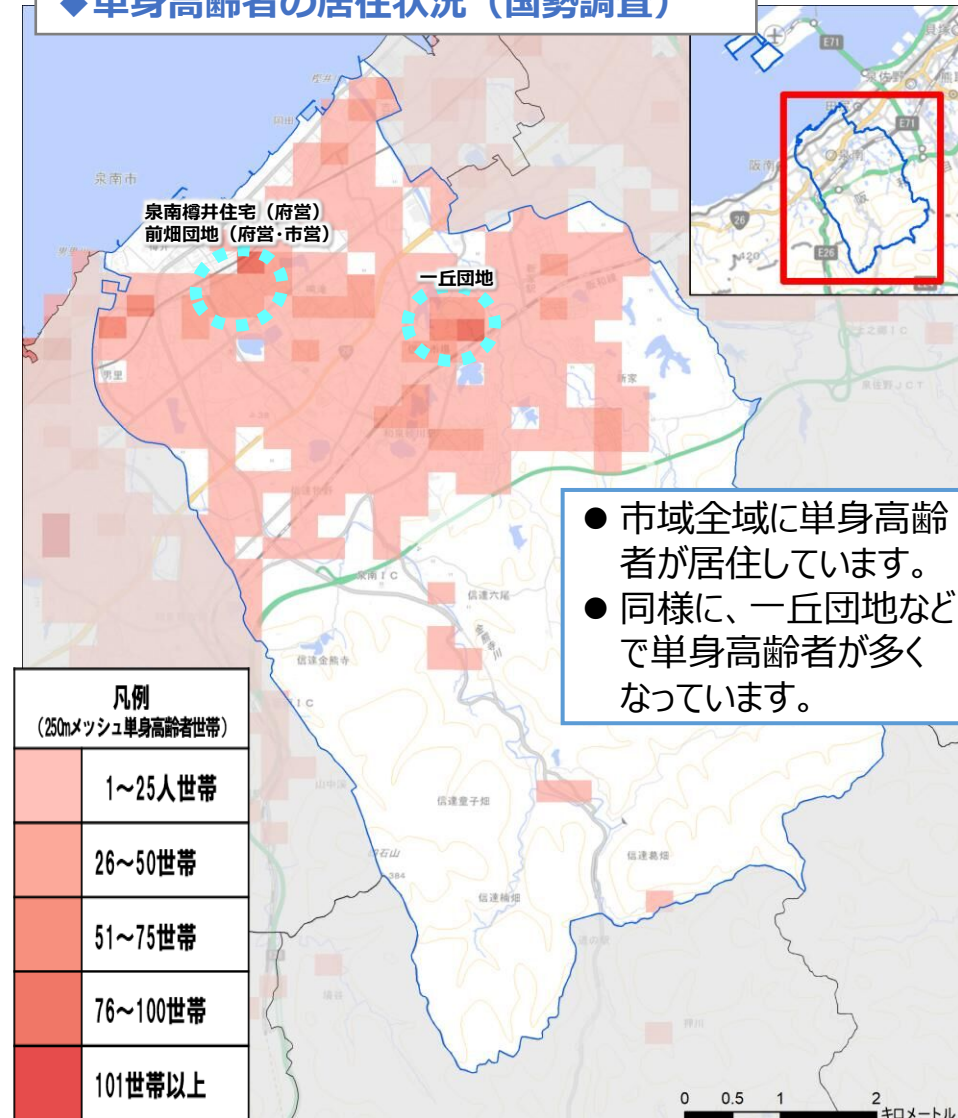


高齢者

◆ 高齢者の居住状況（国勢調査）



◆ 単身高齢者の居住状況（国勢調査）

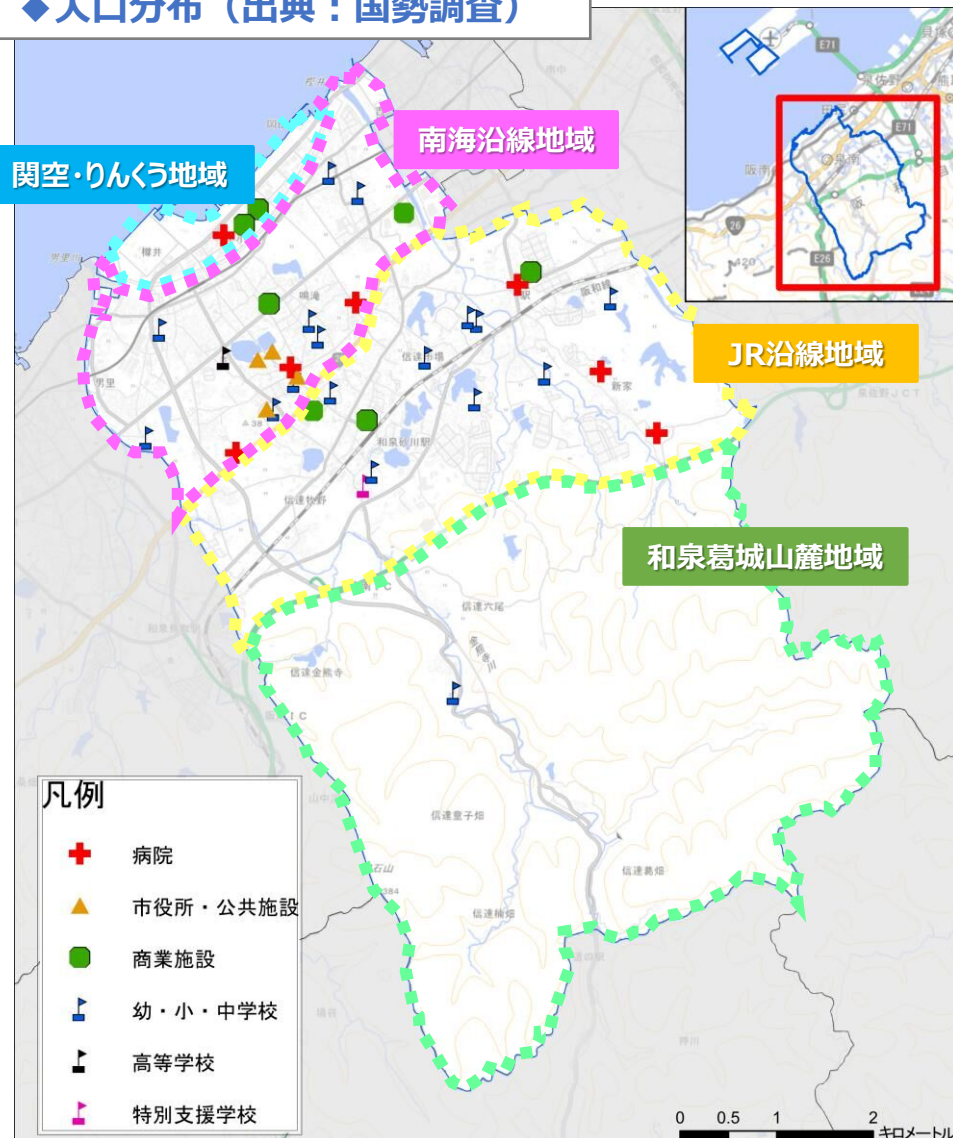


(1) 泉南市の概況について



施設立地

◆人口分布（出典：国勢調査）



病院

市内に7つの病院があり、和泉葛城山麓地域以外に立地しています。

市役所・公共施設

市役所を中心に国道26号線沿いに立地しています。

商業施設

関空・りんくう地域に大型商業施設が立地しているほか、和泉砂川駅や新家駅周辺に商業施設が立地しています。

学校

南海沿線地域やJR沿線地域に学校が集中しています。

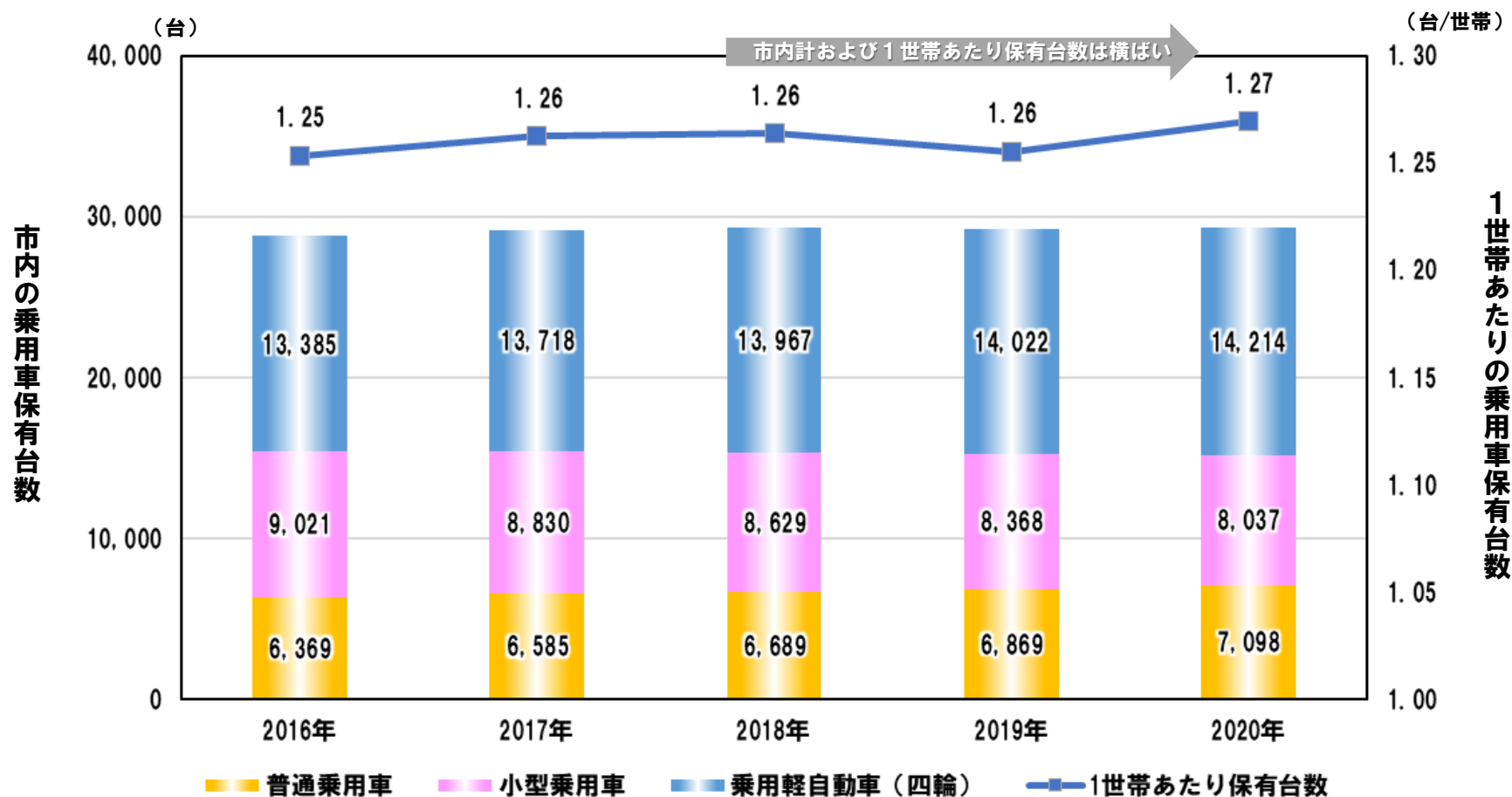
(1) 泉南市の概況について



自動車保有

- 市内の乗用車の保有台数は、横ばいで推移しています。
- 1世帯あたりの乗用車保有台数も同様に横ばいで推移しています。

◆自動車保有台数の推移（市内計、1世帯あたり） （出典：泉南市統計書）



(1) 泉南市の概況について



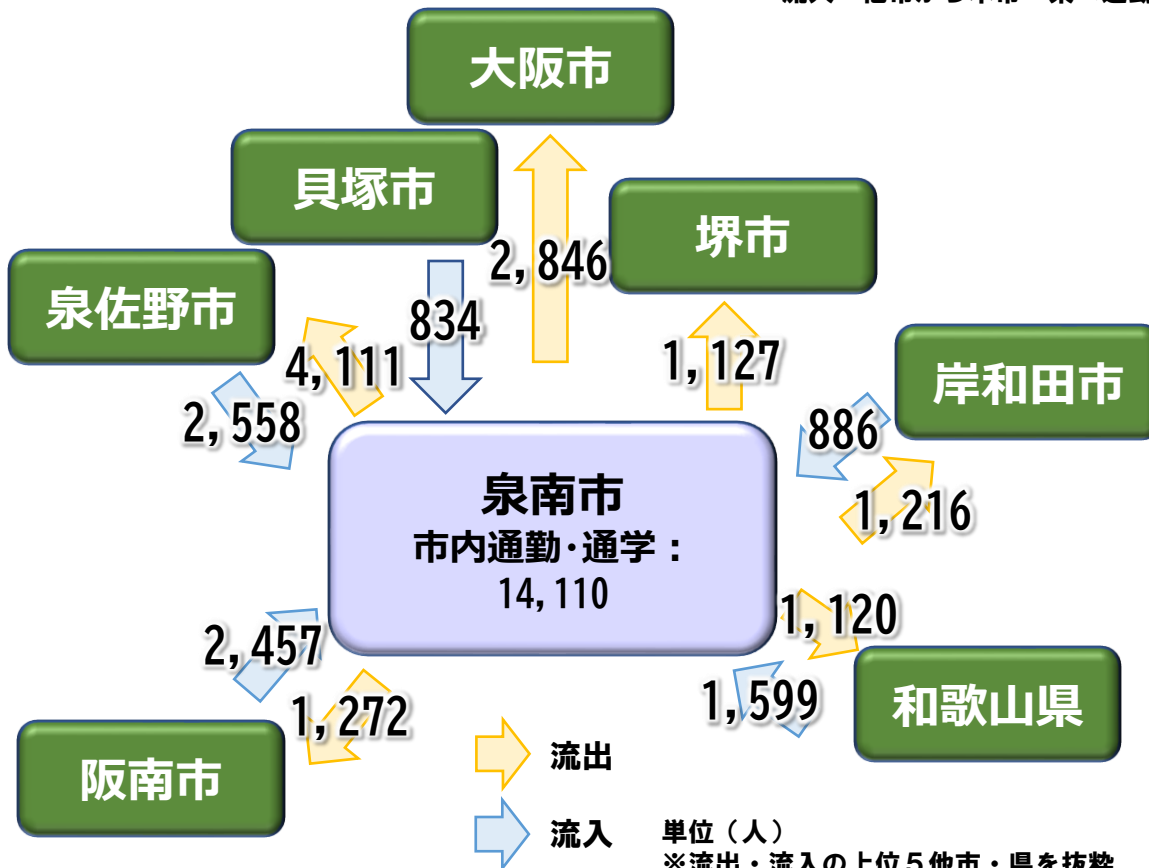
通勤・通学

- 市内へ通勤・通学される方が多くなっています。市外では、泉佐野市と通勤・通学による流出・流入が多くなっています。
- 移動手段は、市内は自家用車、自転車が多く、市外では自家用車、鉄道・電車が多くなっています。

◆通勤・通学の状況（通勤・通学による流出・流入）

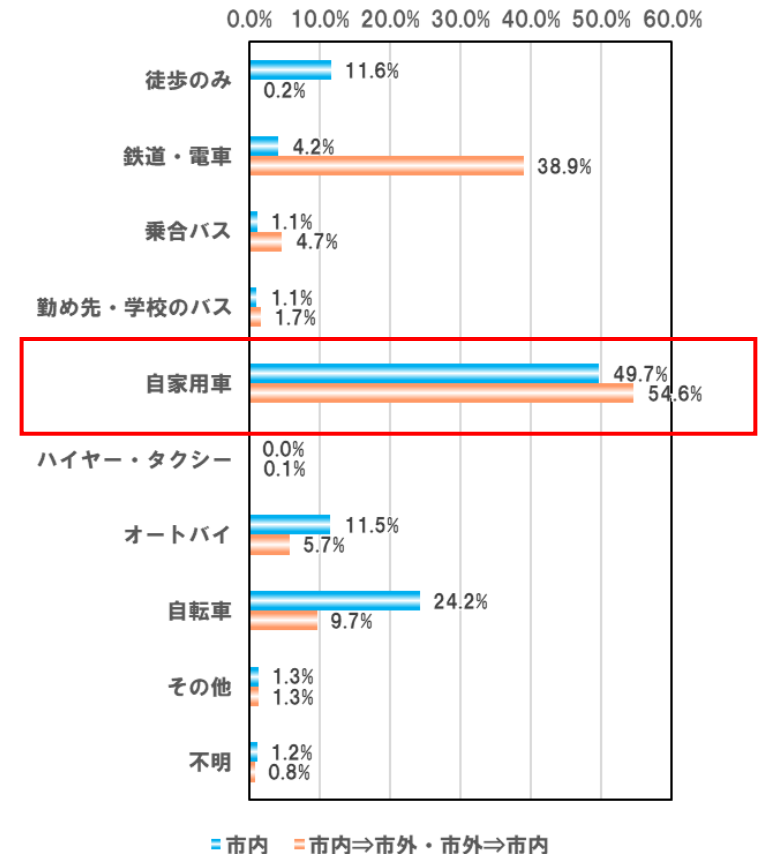
（出典：国勢調査）

※流出：本市から他市・県へ通勤・通学
流入：他市から本市・県へ通勤・通学



◆通勤・通学の移動手段

（出典：国勢調査）



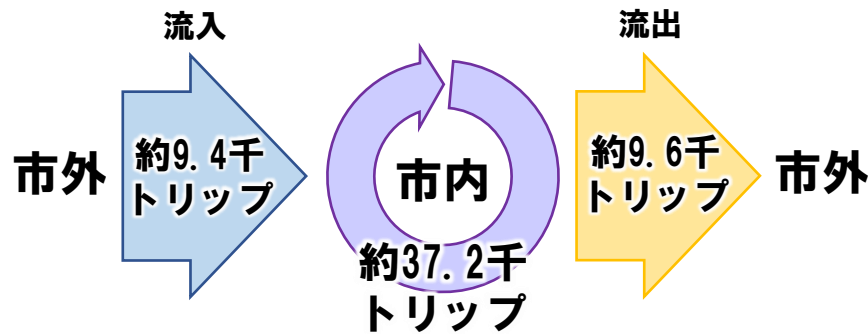
(1) 泉南市の概況について



買い物・私用

- 市内での買い物などが多くなっています。市外では、泉佐野市との流出・入が多くなっています。
- 代表交通手段は、約6割が自動車、約2割が徒歩となっています。

◆買い物・私用の状況（買い物・私用の流出・流入） （出典：第6回近畿圏パーソントリップ調査）



目的地（市内⇒市外）、出発地（市外⇒市内）の上位5地域 ※市内除く

目的地	トリップ数	出発地	トリップ数
泉佐野市(関空除く)	3,245	泉佐野市(関空除く)	2,719
阪南市	2,443	阪南市	2,176
熊取町	369	岸和田市	1,161
岸和田市	345	熊取町	495
大阪市淀川区	227	田尻町(関空除く)	494

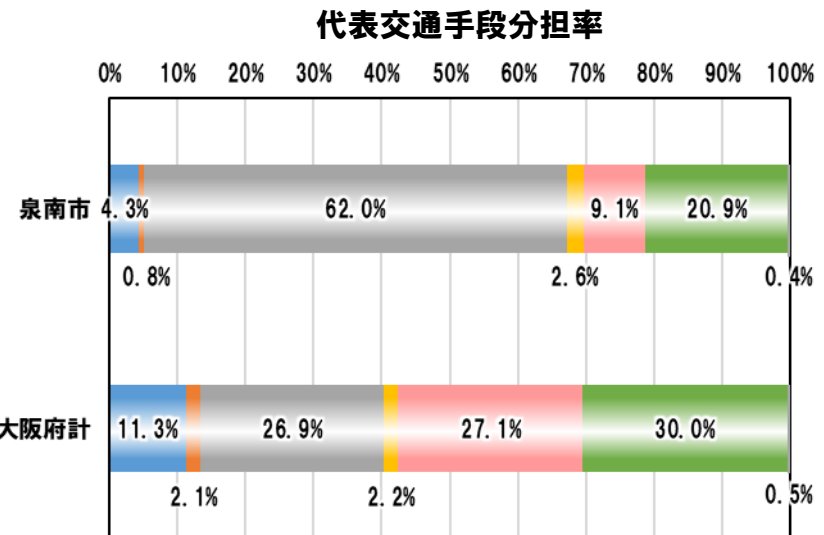
※泉南市(関空除く)に発着のあるトリップを集計
※トリップの目的：「自由」を集計

(参考) パーソントリップ調査とは

人（＝パーソン）の移動（＝トリップ）について、「いつ」「どこから」「どこまで」「どのような人が」「どのような目的で」「どのような交通手段を利用して」移動したかをアンケートし、人のある1日のすべての動きを把握する調査です。

第6回近畿圏パーソントリップ調査（R3年9～11月実施）では、2府4県より約10万世帯、約19万人の回答をいただいています。

◆買い物・私用の移動手段 （出典：第6回近畿圏パーソントリップ調査）



＝鉄道 ＝バス ＝自動車 ＝自動二輪・原付 ＝自転車 ＝徒歩 ■その他/不明

代表交通手段：あるトリップ（移動）で、複数の交通手段を利用した場合、そのトリップでの主な交通手段を示したものです。

※鉄道、バス、自動車、二輪車、徒歩の順で、優先して集計されます。

※泉南市(関空除く)に発着のあるトリップを集計

※トリップの目的：「自由」を集計

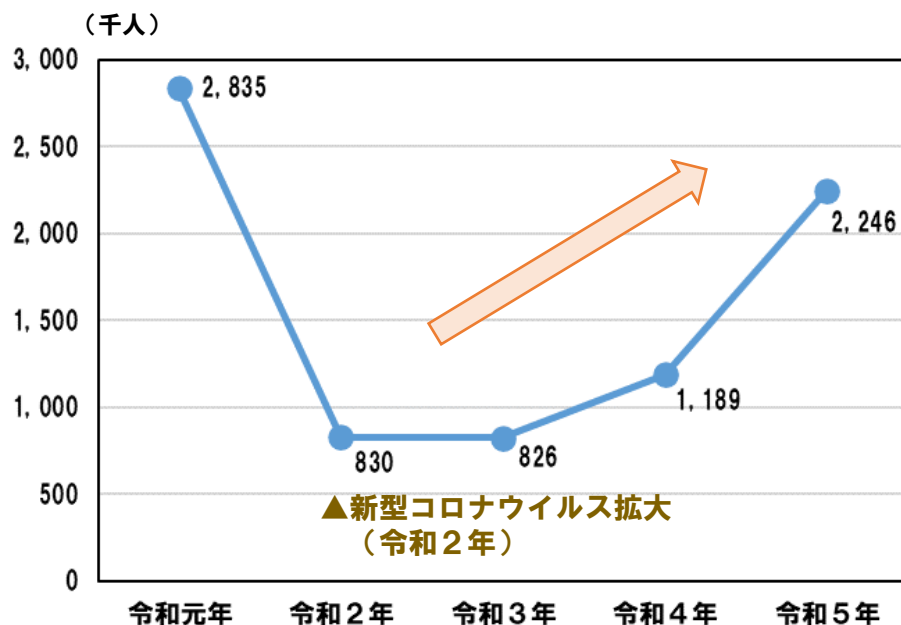
(1) 泉南市の概況について



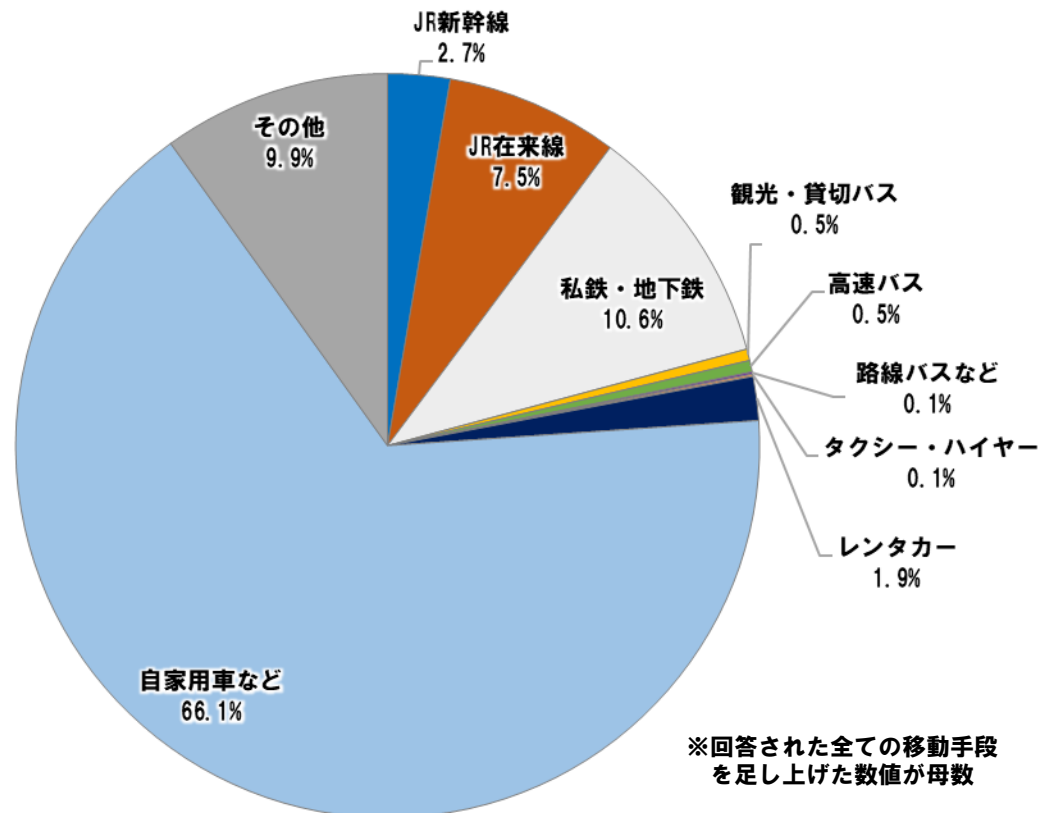
観光

- 本市を含む泉州エリアの延べ宿泊者数は、コロナ禍により減少していましたが、回復傾向にあります。
- 泉州エリアの観光客の移動手段として、約7割が自家用車などを利用されています。

◆延べ宿泊者数（泉州エリア）
（出典：大阪府観光統計調査）



◆観光客の移動手段（泉州エリア）
（出典：大阪府観光入込統計共通基準調査）





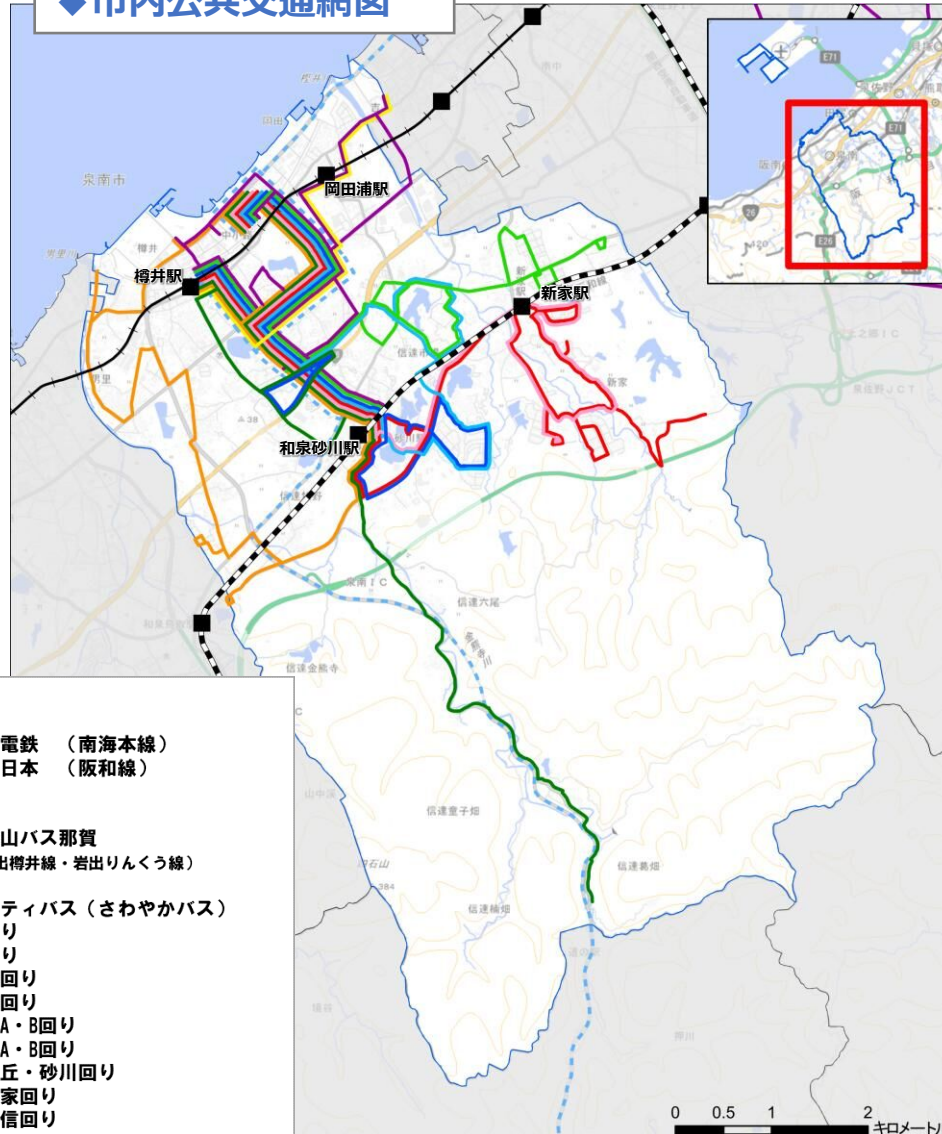
(2) 公共交通の現状について

(2) 公共交通の現況について



市内公共交通

◆市内公共交通網図



- 鉄道
 - +— 南海電鉄 (南海本線)
 - JR西日本 (阪和線)
- 路線バス
 - 和歌山バス那賀 (岩出樽井線・岩出りんくう線)
- コミュニティバス (さわやかバス)
 - 南回り
 - 山回り
 - 砂川回り
 - 新家回り
 - 岡田A・B回り
 - 一丘A・B回り
 - 朝一丘・砂川回り
 - 朝新家回り
 - 朝西信回り

【市内の公共交通】

- 鉄道
 - 南海電気鉄道 (南海本線)
 - 西日本旅客鉄道 (阪和線)
- 路線バス
 - 和歌山バス那賀 (岩出樽井線・岩出りんくう線)
- コミュニティバス
 - さわやかバス (11コース)
- タクシー
 - 大阪第一交通
 - 新泉陽タクシー

(2) 公共交通の現況について

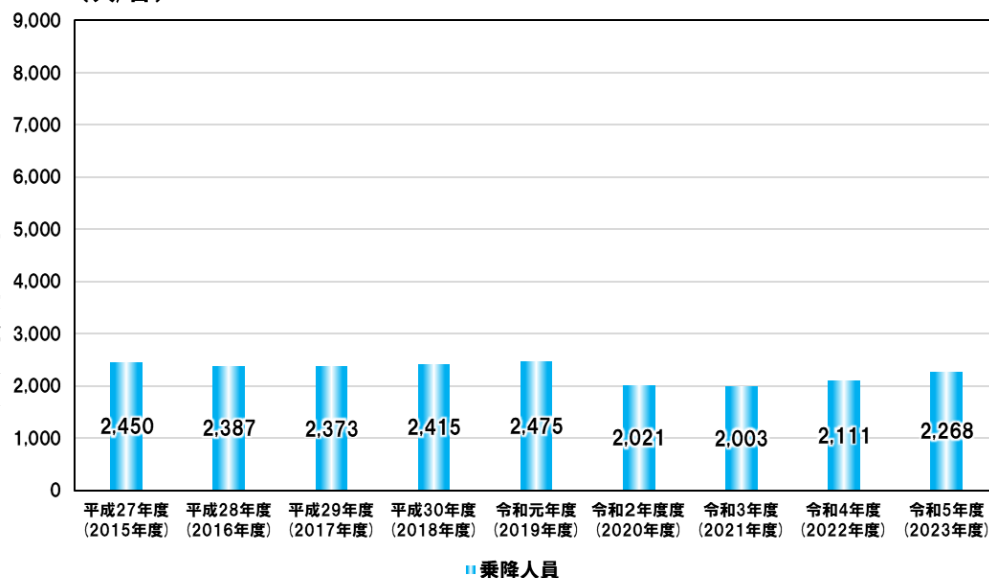


鉄道（南海本線）

- 南海本線は、市内に岡田浦駅と樽井駅の2駅が立地しています。
- コロナ禍により、減少していた利用者は回復傾向にありますが、コロナ前と比較し、乗車人員は、約1割少ない状況です。

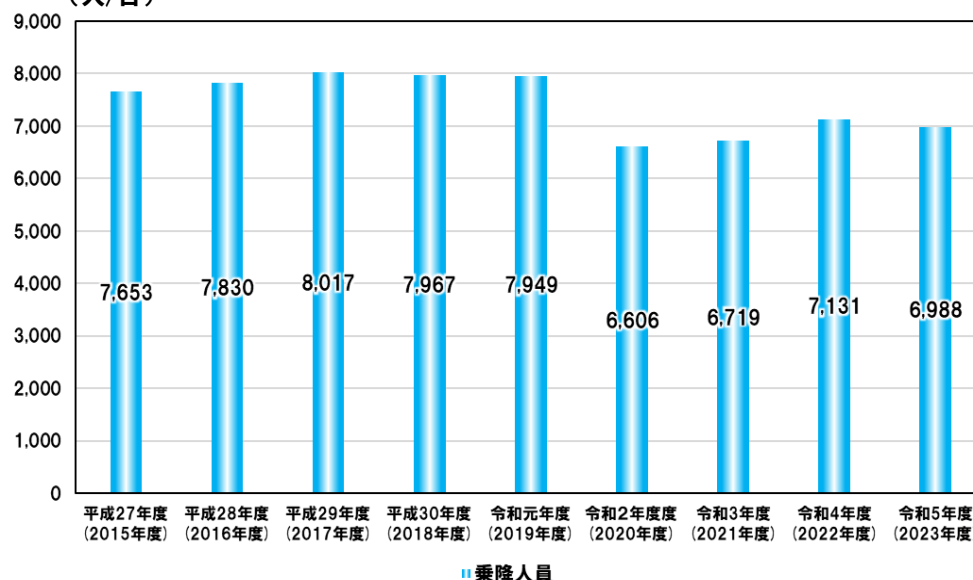
◆南海本線の駅別1日平均乗降人員の推移 (出典：南海電気鉄道提供資料)

岡田浦駅
(人/日)



利用者は、コロナ前と比較し、約8%減少
(令和5年度/令和元年)

樽井駅
(人/日)



利用者は、コロナ前と比較し、約12%減少
(令和5年度/令和元年)

(2) 公共交通の現況について

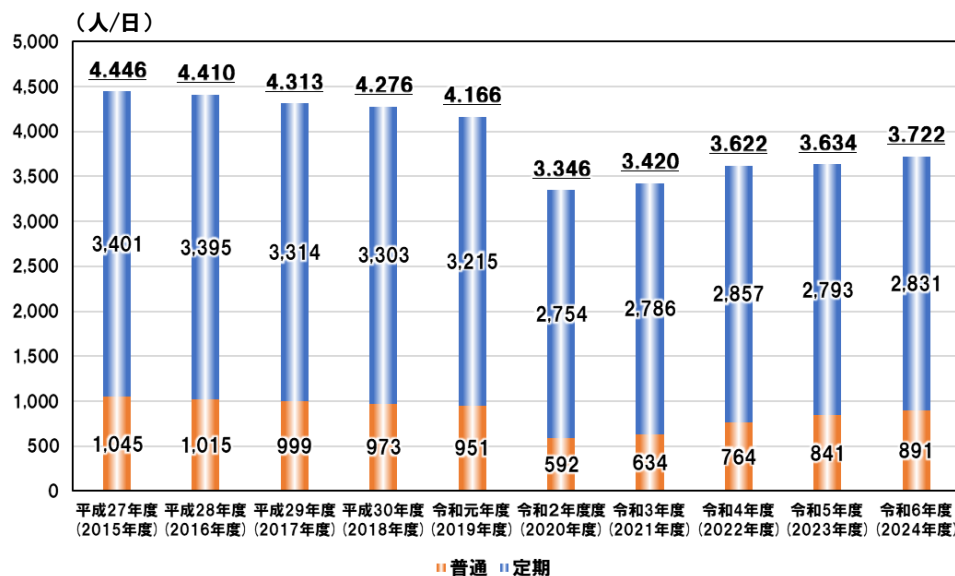


鉄道（阪和線）

- 阪和線も、市内に和泉砂川駅、新家駅の2駅が立地しています。
- 阪和線においても同様にコロナ禍により、減少していた利用者は回復傾向にありますが、コロナ前と比較し約1割少ない状況です。

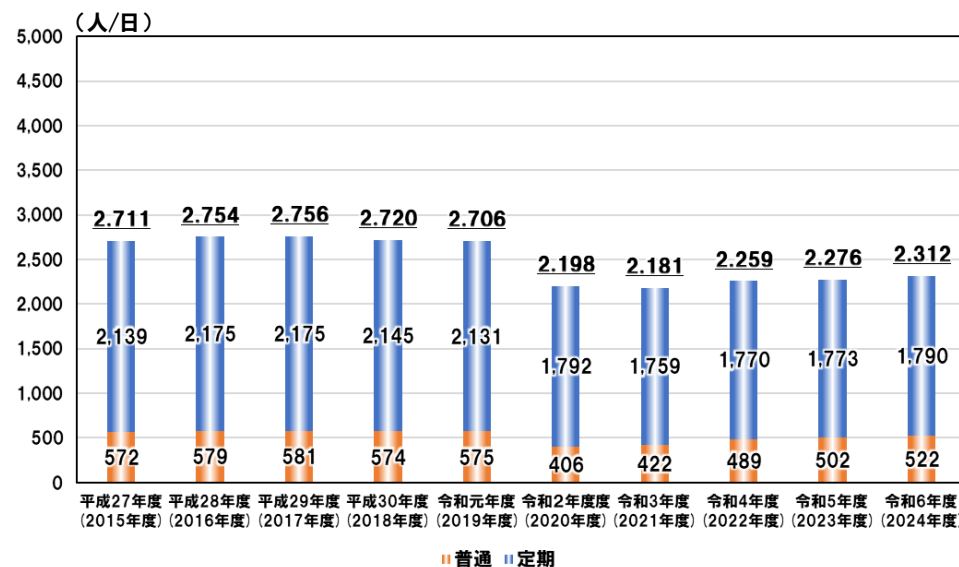
◆ 阪和線の駅別1日平均乗車人員の推移 (出典：西日本旅客鉄道提供資料)

和泉砂川駅



利用者は、コロナ前と比較し、約11%減少
(令和6年度/令和元年)

新家駅



利用者は、コロナ前と比較し、約15%減少
(令和6年度/令和元年)

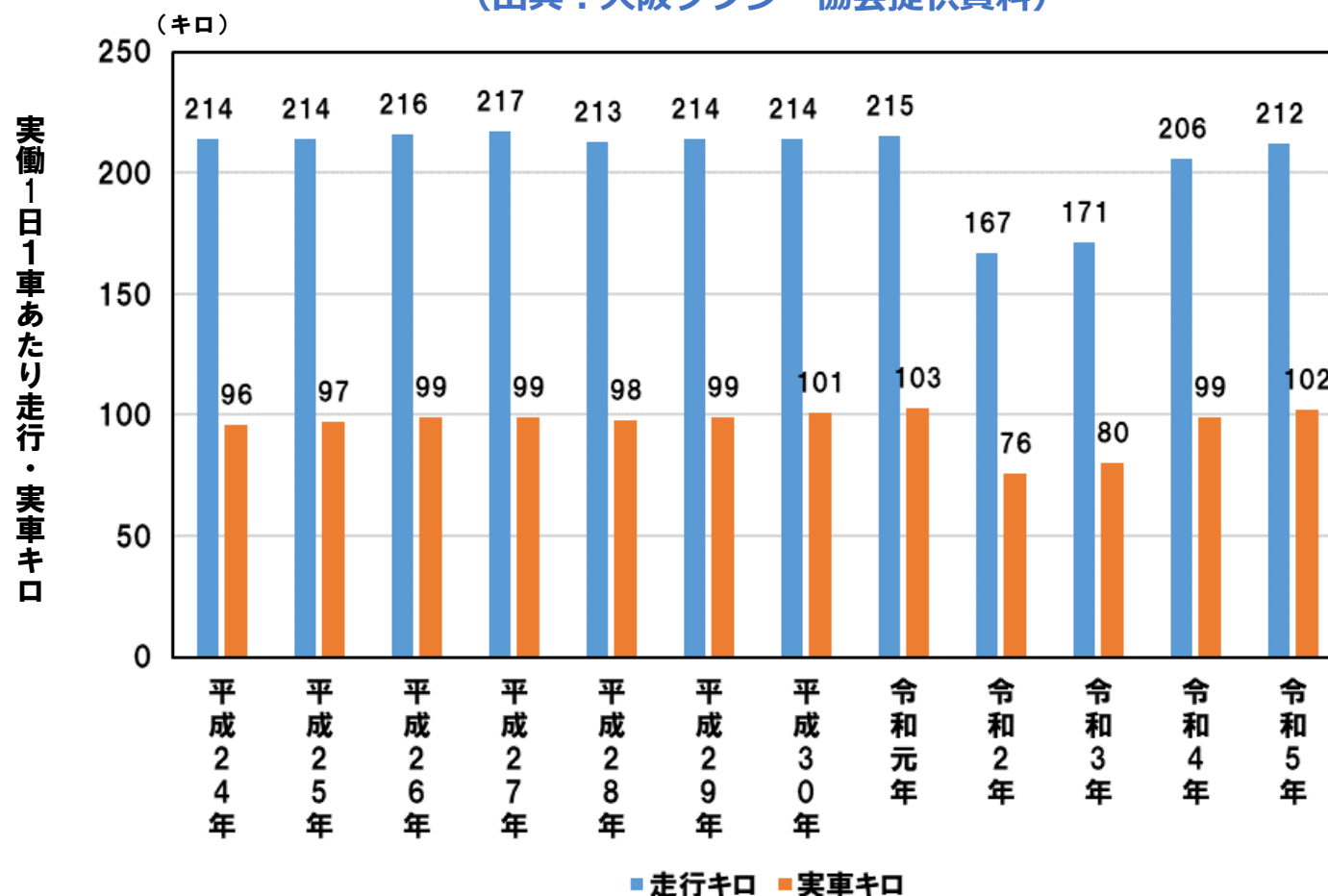
(2) 公共交通の現況について



タクシー

- コロナ禍により、走行キロ・実車キロは減少していましたが、コロナ禍前と同程度まで回復しています。

◆ 実働1日1車あたり走行キロ・実車キロ（泉州交通圏）
（出典：大阪タクシー協会提供資料）



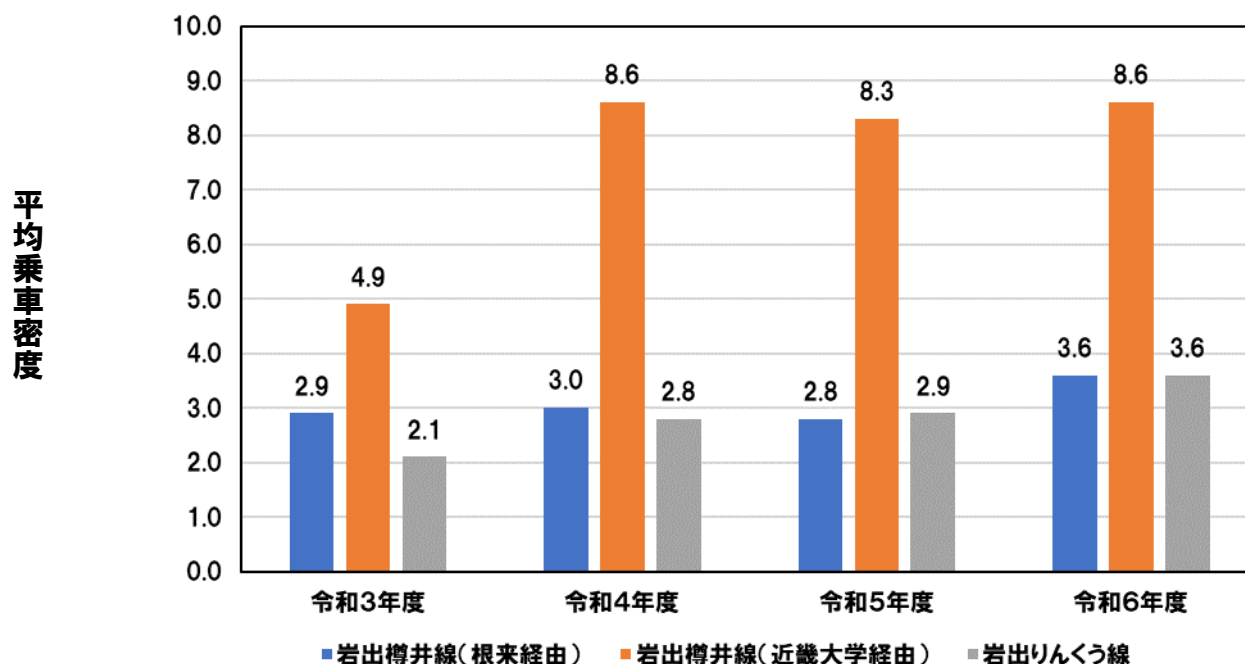
(2) 公共交通の現況について



路線バス（岩出樽井線・岩出りんくう線）

- 岩出樽井線・岩出りんくう線は、岩出市(和歌山県)と本市を結ぶ路線となっています。
- 岩出樽井線（根来経由）は、和歌山県の地域公共交通確保維持事業の対象となっており、岩出市から樽井駅などへアクセスし、大阪方面へ通勤・通学するために必要不可欠な路線として設定されています。

◆ 岩出樽井線・岩出りんくう線の平均乗車密度の推移
(出典：和歌山バス那賀提供資料)



※平均乗車密度：運行1便あたりの乗客数を全線で平均した値（年間輸送人キロ÷営業キロ÷365日）

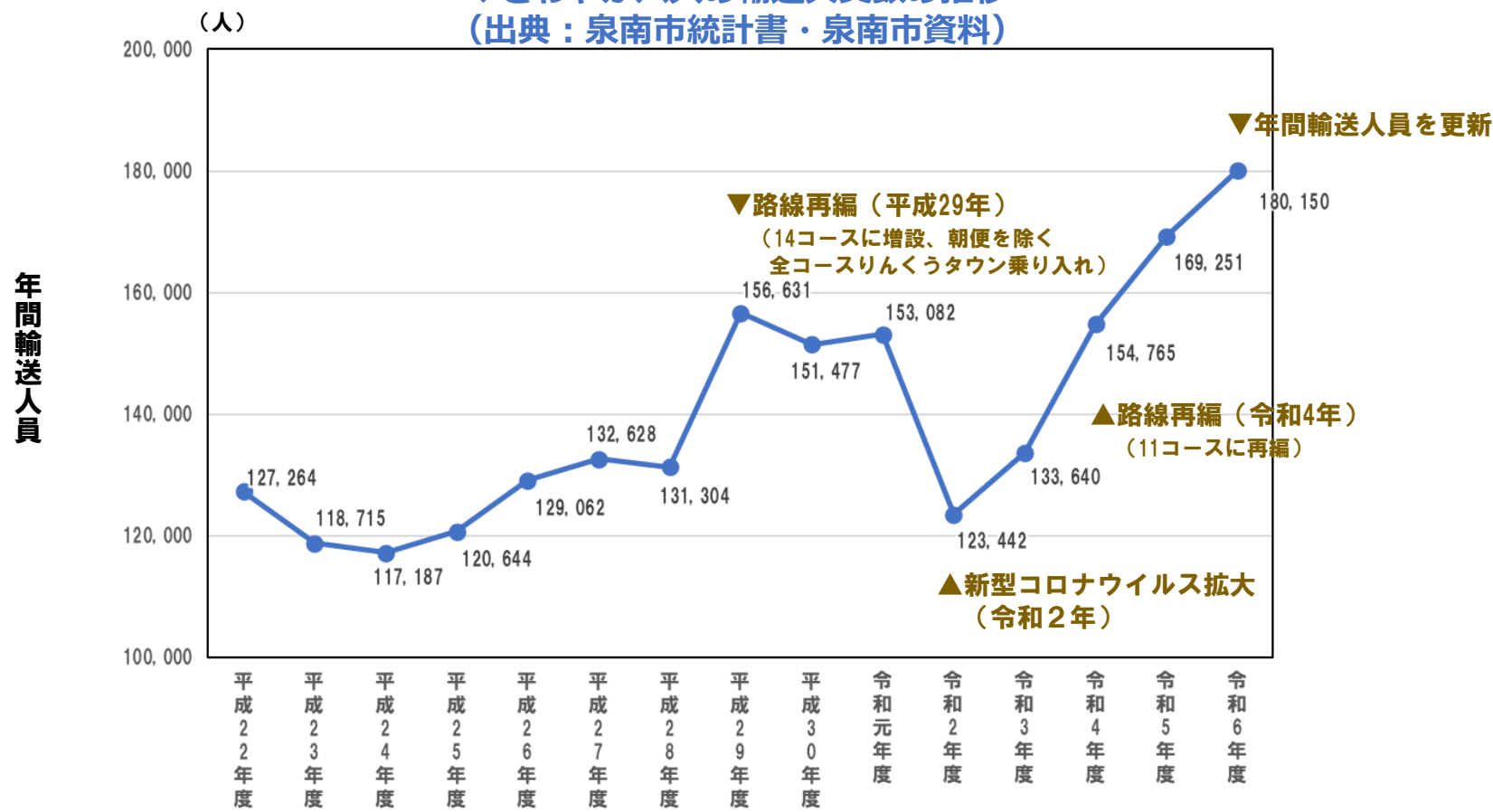
(2) 公共交通の現況について



さわやかバス

- さわやかバスは、バス事業者の撤退やバス路線の廃止などを契機に、平成14年に公共施設巡回型のコミュニティバスとして運行を開始しました。
- 平成14年は4コースを運行していました。令和4年度からは11コース運行しています。
- コロナ禍で一時利用者は減少しましたが、輸送人員（利用者）は毎年増加しています。

◆ さわやかバスの輸送人員数の推移
(出典：泉南市統計書・泉南市資料)



(2) 公共交通の現況について

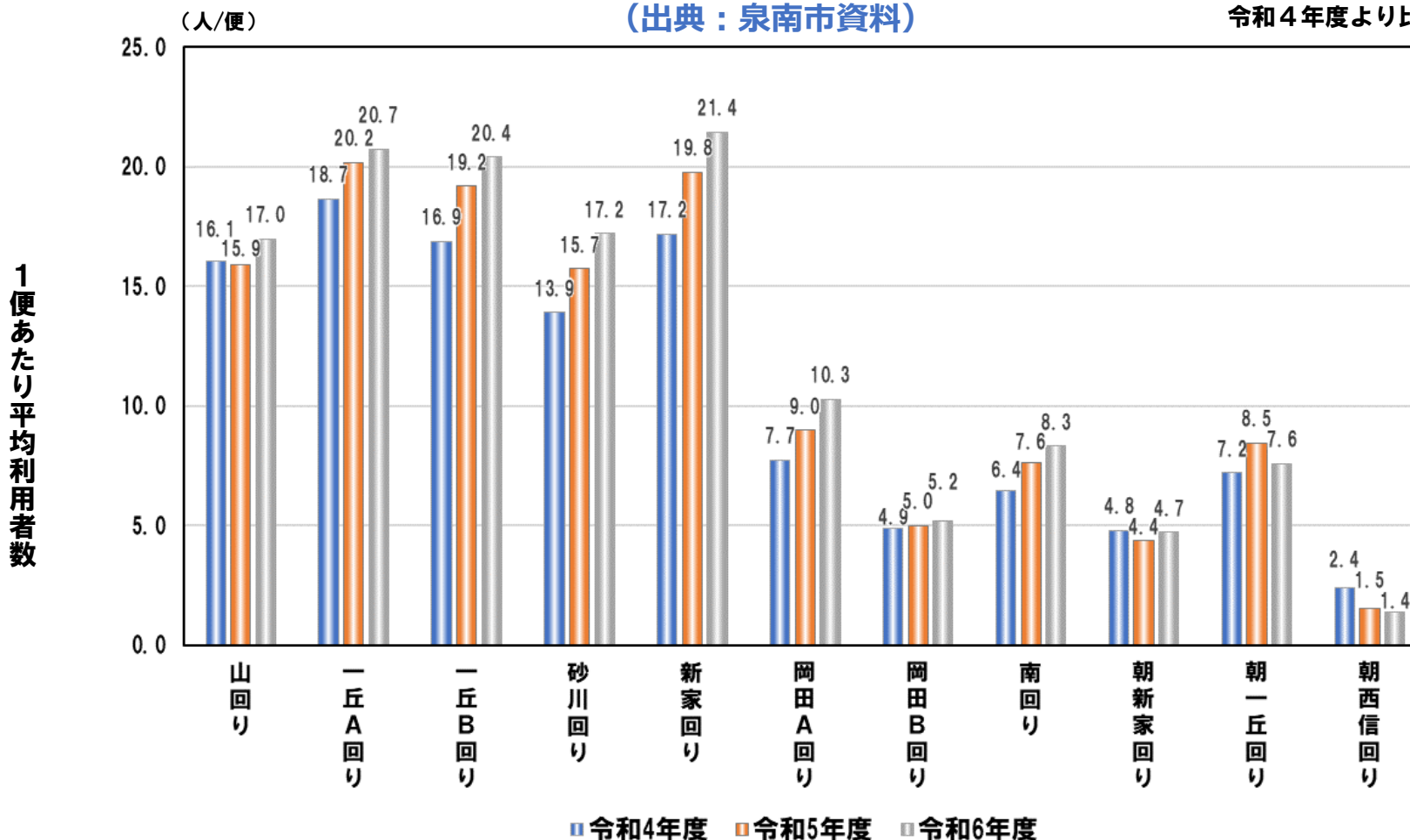


さわやかバス（コース別）

- 朝新家・朝一丘・朝西信回りの1便あたりの利用者は横ばいの傾向ですが、その他のコースでは利用者は増加しています。

◆ さわやかバスの輸送人員数の推移
(出典：泉南市資料)

※現在の11コースとなった
令和4年度より比較しています。



(2) 公共交通の現況について



さわやかバス（1日あたり乗降者数）

◆バス停別 1日あたり乗降者数

**イオンモール
りんくう泉南**
乗車:101.8人/日
降車:99.3人/日

樽井駅前
乗車:56.1人/日
降車:58.8人/日

**砂川駅
(海手西口)**
乗車:58.6人/日
降車:55.3人/日

**砂川駅
(山手東口)**
乗車:26.5人/日
降車:34.4人/日

東小学校前
乗車:22.7人/日
降車:13.7人/日

全バス停合計
乗車:500.4人/日
降車:500.4人/日

1日 乗車
1日 降車

- 特に、「イオンモールりんくう泉南」、「樽井駅前」「砂川駅前」などで利用者が多くなっています。
- 和泉葛城山麓地域では、「東小学校前」で利用者が多くなっています。

(参考) さわやかバス バス停名



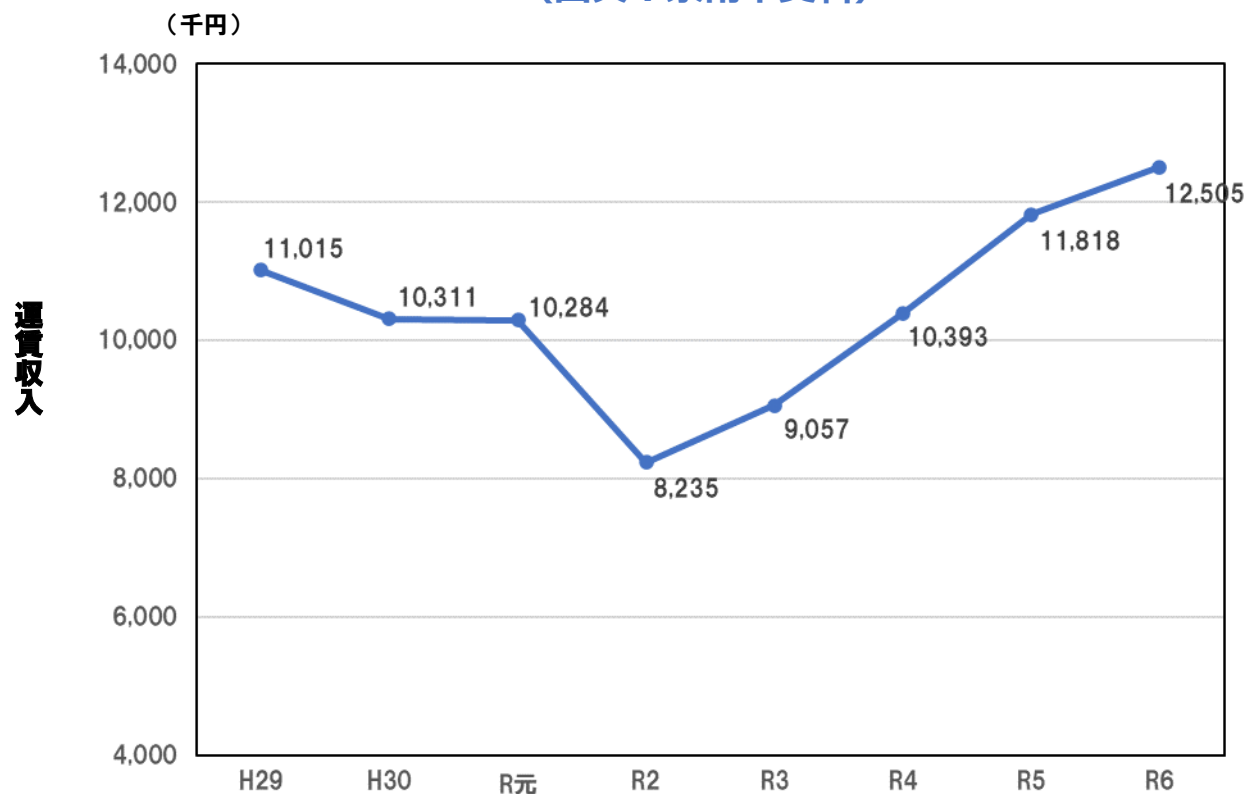
(2) 公共交通の現況について



さわやかバス（運賃収入）

- コロナ禍による利用者減少により、運賃収入は一時落ち込みましたが、利用者の回復・増加に連動して、運賃収入は増えています。

▼さわやかバスの運賃収入の推移
(出典：泉南市資料)



運賃

大人：100円
子ども：50円

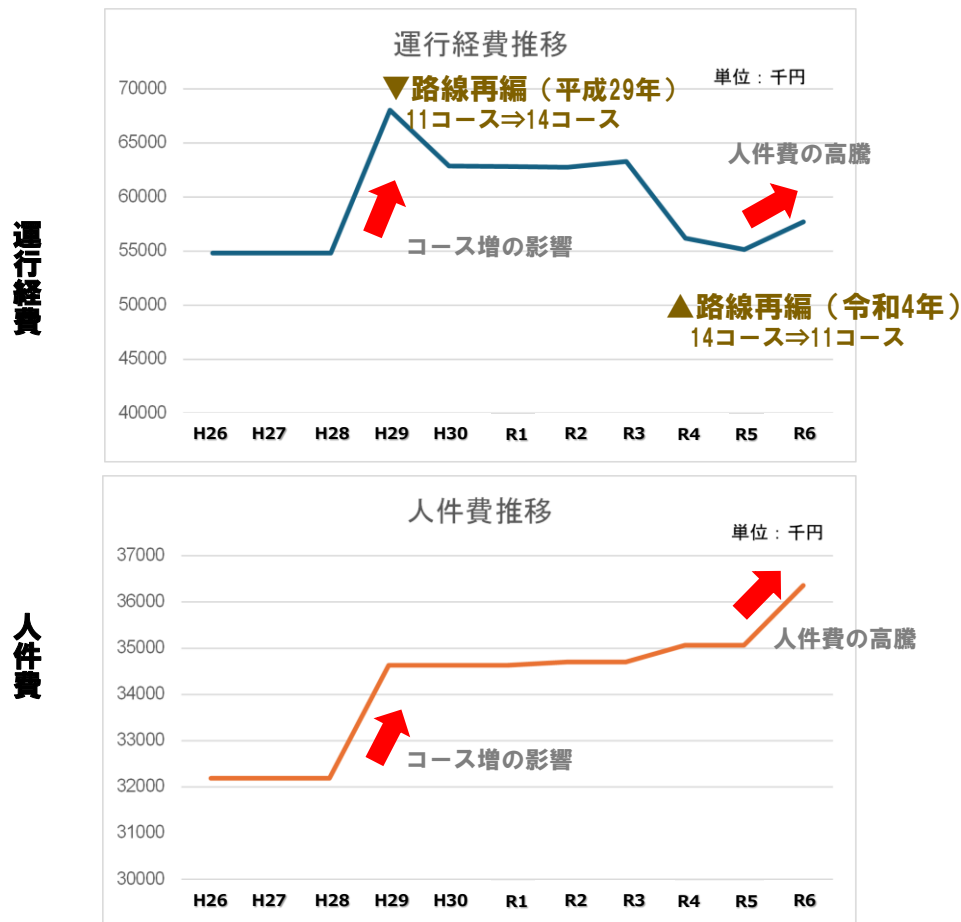
(2) 公共交通の現況について



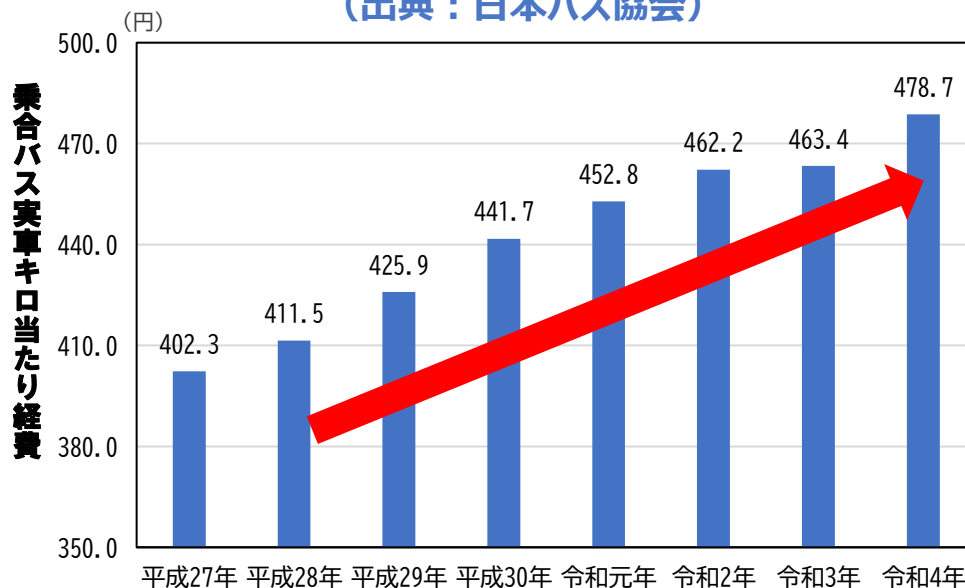
さわやかバス（運行経費）

- 路線再編などにより、運行経費は変動していますが、人件費は年々高騰しており、運行経費にもその影響が伺えます。
- 全国的にも、人件費や燃料費の高騰によって、運行にかかる経費は年々増加しています。

▼さわやかバスの運行経費・人件費の推移（出典：泉南市資料）



（参考）乗合バス実車キロ当たり経費の推移（出典：日本バス協会）



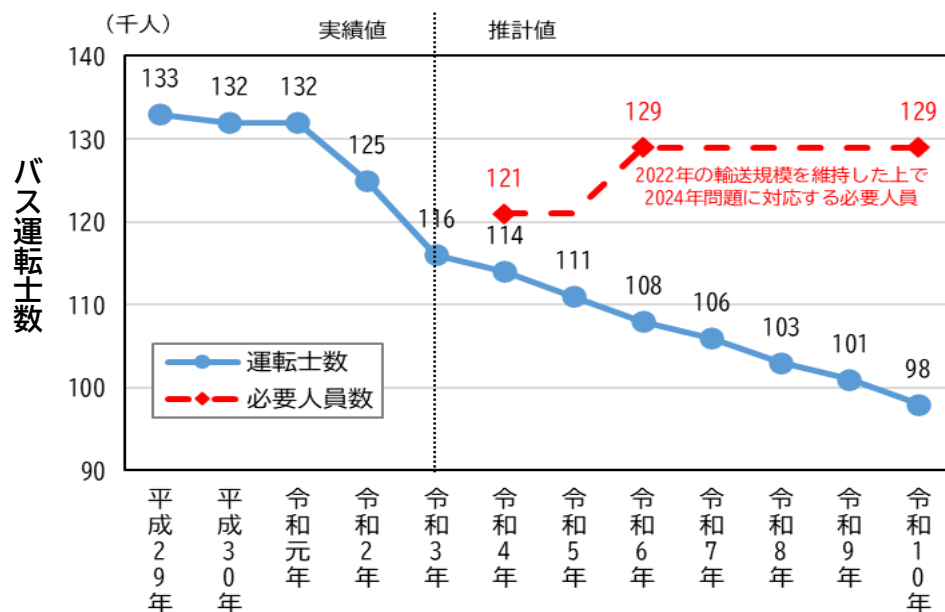
(2) 公共交通の現況について



公共交通を取り巻く状況

- 公共交通の利用者の減少だけでなく、令和6年4月のバス運転士に関する労働時間の規制強化（2024年問題）によって、全国的にバス乗務員不足が深刻化しています。
- 府内でもバス事業者の事業廃止などの事例が発生しています。

▼ 2024年問題によるバス運転士不足の試算 (出典：日本バス協会)



▼ 乗務員不足などによる事業廃止事例 (出典：河南町)

ニュースリリース
(報道関係各位)令和5年9月11日
河南町役場
総合政策部秘書企画課

金剛自動車株式会社のバス事業廃止について

南河内郡河南町は、令和5年9月8日付けで、金剛自動車株式会社から令和5年12月20日をもって路線バス事業から撤退する旨の事業廃止届の提出を受けました。

乗務員不足の深刻化および利用者低迷による経営悪化を受けて、運行を継続することが難しいとのことでした。

■ 町長のコメント

金剛バスは、近鉄長野線富田林駅・喜志駅へのアクセスとして、古くから通勤・通学など多くの住民の皆さまが利用してきた日常生活において欠かせない交通機関であります。

地域の交通機関が廃止されることは、誠に残念であります。

このことは住民生活に大きな影響があり、移動手段の確保が急務と考え、国・府の助言を受け、沿線市町村等関係機関と連携を図りながら、可能な限り路線維持に努めてまいります。

【本件に対する問い合わせ】
〒585-8585 大阪府南河内郡河南町大字白木1359-6 総務部 総務課
TEL:0721-93-2500 FAX:0721-93-4691
担当者:田中 メールアドレス:soumu@town.kanan.osaka.jp